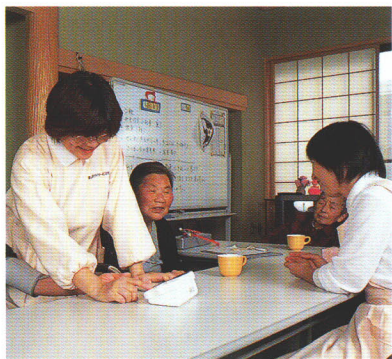


## 健康福祉

Health & Welfare

### ふれあい支えあう健康福祉のまちづくり

共働き世帯の増加や少子高齢化などが進む中、町民が互いに助けあい、誰もが安心して暮らすことのできる環境づくりがまちに求められています。健康や福祉活動において多様化しているさまざまな課題に適切に対応し、保健、医療、福祉がスムーズに連携したサービスの提供を進めていく必要があります。さらに、後継者の結婚対策や子育て環境の充実を図り、すべての町



民が健康で生きがいのある、ともに支えあう地域社会の構築をめざしています。

霊山町では、町民の健康的な生活を支援するために、さまざまな健康教室や健康相談、栄養改善教室などを開催しています。

また、健康診査を実施して病気の早期発見を進めているほか、健康指導も行っています。母子保健においては、乳幼児の健康診査などとおして充実を図っています。町内の医療機関と連携を図りながら、医療サービスの充実と救急体制の整備に努めています。

全国的に高齢化が進んでいる中

で、霊山町でも六十五歳以上の高齢化率が二十六・二％（平成十二年国勢調査）となっています。特に七十五歳以上の高齢者の割合が増加しており、今後ともすべての高齢者が健康で生きがいをもち、住みなれたまちで安心して生活できるように、介護保険制度に基づきながら在宅介護サービスの提供していきます。

総合福祉センター「茶臼の里」では、保健と福祉のさまざまなサービスの提供をしています。デイサービスを実施しているほか、身体に障害をもつ方の機能回復訓練や乳幼児健康診査なども行っています。在宅介護支援センターやボランティア

活動の拠点となるボランティア室などもあり、霊山町の保健福祉サービスの拠点となっています。

また、町民一人ひとりが障害者への理解を深めるため、積極的に啓発活動に取り組んでいるほか、道路や公共施設のバリアフリー化を進めています。同時に障害者の雇用・就業の促進に努めています。

## 生活環境

Living Environment

### 安全とやすらぎの快適なまちづくり

うるおいのある生活環境の中で安心して暮らすことは、町民みんなの願いです。より安全で快適、便利な霊山町をつくっていくために、生活



環境の整備に取り組んでいます。

霊山町では、都市計画マスタープランを策定し、自然環境に配慮しながら計画的な土地利用を図っています。また、森林のもつ保全機能や水資源かん養機能などを見直すとともに、町民にゆとりとうるおいを与える余暇活動、交流の場としての活用も図っています。

国道、県道をはじめとする町内道路網の整備にも取り組んでいます。町田線の町田橋が完成したほか、ふるさと林道大霊山線など、生活を支える基盤整備が進められています。



さらに上水道の整備においても、地域の状況にあわせた整備を行っています。

生活スタイルの多様化にともなって、ごみの量も増えています。そのため、循環型の社会をめざして町民の協力のもとに分別収集を行っているほか、リサイクルの推進を図っています。

また、花いっぱい運動など、町民が参加しての美しいまちづくりを支援しています。

万が一の災害や事故から町民の命と財産を守るため、防災訓練や治山・治水対策などを行っているほか、交通安全のための啓発活動や防犯意識の高揚などに、地域ぐるみで取り組んでいます。

霊山町では、すべての町民が生き生きと暮らしていけるように、  
第4次霊山町振興計画を策定しました。  
計画に基づきながら、「人と自然の共生・りょうぜん」を  
将来像にかかげて、まちづくりに取り組んでいます。

# 施策の概要